

戦没者確認證明書

一、死陥者所屬部隊名(通稱等)

成美第十六大隊(第五飛援)

一、徵集年

昭和

一、官等(死陥前)

軍人

(死陥後)

軍人

天罰

一、氏名

佐藤

清九郎

天罰

一、死陥場所

北条

天罰

天罰

一、死亡原因

毒氣

天罰

天罰

一、死陥年月日時間

昭和

天罰

天罰

一、死陥者本籍地留守擔當者

天罰

天罰

右確認證明書

一、昭和二十二年一月十日

元

所屬部隊名

成美第十六大隊

天罰

現住所

天罰

元官等級

天罰

氏名印

天罰

註 死亡事由、場所ハナムクノラジノ替ニ終戦後之死亡ハ明加ニ生死不明ニナシタガハシノ前後ヲ
ノツシクオ知ラセドメ

宛先

地方世話部監査係

死 亡 事 實 證 明 書

本籍地

現住所

所屬部隊

第百五師團

驅逐兵 第一中隊

微集年

昭和二十一年六月一日

右

右

右

一等兵

右者 昭和二十一年六月一日十一時 比鳥田中村立於
大鷹火災三十數病死之事 證明文

昭和二十一年一月一日

調製者

職氏名

比鳥派置勤

一等兵 部隊

隊

伍長

比鳥派置勤

一等兵 部隊

隊

50-10

1166

死 者 認 識 曰 明 書

元

所屬部隊名

機庫第3聯隊第1中隊(原方空五七教隊)

官等級氏名

陸學長

本籍地

死亡年月日

昭和平年五月十九

死亡區分

戰病死

死亡場所

名采島

傷兵名

獨創

謹言遺書

遺言書(略)

現認事由

同母入院退院時次之迄未入見矣

證明年月日

昭和平年五月十九

所屬部隊名

機庫第3聯隊

官等級氏名

陸學長

理由前

記載上之注意

(略)

地方世話部 死亡者認調定票

昭和二十一年 月 日 調査

新守業務課

所屬部隊名 固有名 独歩工兵隊團信隊 通稱名 気五三四隊

本籍地	死亡年月日時	種役
國	昭20.6.10.	兵
級等官		步
前亡死		
後亡死		
死亡場所	比島	氏名
傷病名	一五二高地	年月日生

同居地	死亡年月日時	種役
布施地	昭20.6.10.	兵
行劫		步
高		
銃創		
胸		
背部		
背部		

死亡年月日時	種役
昭20.6.10.	兵
前亡死	
後亡死	
死亡場所	比島
傷病名	一五二高地
年月日生	

死亡年月日時	種役
昭20.6.10.	兵
前亡死	
後亡死	
死亡場所	比島
傷病名	一五二高地
年月日生	

死亡年月日時	種役
昭20.6.10.	兵
前亡死	
後亡死	
死亡場所	比島
傷病名	一五二高地
年月日生	

死亡年月日時	種役
昭20.6.10.	兵
前亡死	
後亡死	
死亡場所	比島
傷病名	一五二高地
年月日生	

級職 部隊 時間

印檢點

認定一進級告知記録

停年名簿頁

ス戒記
ス在管保
消林
シ消林
所見

1168

昭和二十二年 6月 10日

公(第) 九(號)

死亡者調査表

昭和二十二年 月 日

地 方 世 話 部 調製者

官署

者 帶 連			長 科	長 課	長	整理番號
						所屬部隊
						固有名
年集徵	※	年	本籍	地	年	所屬部隊
※	ク	年	籍	地	年	固有名
留守現住所	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
搬出者	兵	年	籍	地	年	固有名
搬柄氏名	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
死亡年月日時	兵	年	籍	地	年	固有名
死 亡	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
直前の職務	兵	年	籍	地	年	固有名
死亡事由箇病名	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
追骨送還品の状況	兵	年	籍	地	年	固有名
未歸還届	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
記票名死者	兵	年	籍	地	年	固有名
號番原死者	兵	年	籍	地	年	所屬部隊
報公號番	兵	年	籍	地	年	固有名
未歸還届	有	年	籍	地	年	所屬部隊
	無	年	籍	地	年	所屬部隊
	第五八一號	年	籍	地	年	所屬部隊

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること
◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく読んでから記入の事）

28-10

1169

不
同

卷之三

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名義柄 戸主 本人

氏名

年 [] 月 [] 日 生

3270

二、所屬 遠衛部隊名 上自島 派遣指揮官集団 [] 兵團 [] 駆逐 [] 本部

三、戰死者徵集年月日 / 年役種予役 兵種半兵 死亡前官等級陸軍軍官年月日 昭和二十年四月一日

四、戰死年月日時刻及場所 案和三十甲午八百十自島 [] 今ナツカサウマヤ [] カウミヤ [] 南京

五、戰死現認ノ程度 確實

六、遺骨筋髄ノ有無 有

七、戰死當時ノ状況ノ概要

太陽光アキラキル死傷者半数中二斬心施射テ空手銃死

八、死亡區分 瞬死 事由敵弾穿通 發病年月日 昭和二十年五月十日

九、其ノ他 上陸地點 [] 基準 [] 軍令 [] 事由敵弾穿通 發病年月日 昭和二十年五月十日

生存幹部 [] 老母 [] 事由敵弾穿通 發病年月日 昭和二十年五月十日

一、遺族ノ現住所

戰死者トノ籍柄

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年五月十六日

證明者住

戰死者トノ關係同部隊 [] 高級伍官

所屬部隊名上自島 [] 遠衛部隊集団 [] 兵團 [] 大隊本部

兵種 [] 官等陸軍軍官年月日

氏名

市町村長眞箇所

大日本帝國軍

將軍

用

1171

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名 桜 桜 戸主

三男



化九

氏名

年

月

日

二、所屬團有部隊名
編號 部隊名 比島派遣振武集団

大隊 本部通信班

三、戰死者徵集年月九年役種下役 兵種步兵 死亡前官等級陸軍伍長 年月日 昭和年月日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和三十年六月十日 比島テノナ川河畔北側約十二千米

カムカム山麓高地

五、戰死現認ノ程度確定

六、遺骨歸還ノ有無無

七、戰死當時ノ状況ノ概要
太行通信班生存幹事官下士江澤三一 氏名 五月十日大日本陸軍方三郎進ニテ精神疲勞
アシガラニシ時太行在リ平七主官田中一士ニテ移進六月四日日出門後進出スルトキ連合軍車
包围攻撃ヲ蒙テ六月十日比島南面北側にて之を失フ 之を失フ時行軍中並行軍自走車並行車

八、死亡區分 戰死 事由 駅前作陣 發病年月日 昭和三十年六月十日

九、其他 二上陸地二於死亡者登記立タス 甲立スノ内不詳者登記立タス 甲立スノ上陸年月日及上陸地

生子年月日

戰死者トノ遺稿

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三十年六月二十日

證明者住所

戰死者トノ關係同前

所屬部隊名 比島派遣振武集団

兵種 官等級陸軍伍長 中尉

氏名

市町村長證明箇所

印

戰病死證明書

年間
月
日

1173

戰死證明書

卷之三

卷之三

1174

比島派遺威一〇六号空襲隊
陸軍參長

原

昭和三十一年六月十日、ナガアーレ洲 カムカウタ・モント、
野牛=歿死入

昭和三十一年三月一日參長=進給入

右、獨考了書明久

昭和三十一年三月七日

博

7-11

1175

現認書

日

書

本籍地

舊部隊

第九軍行營大隊

(這標記)

一大五二部隊

徵兵處

年役達

役宣政上等兵

右者昭和五年七月一日北部軍事廳之徵兵大隊
附註：我軍於八戰死之事並現認了。

10-11

1176

昭和二十二年十一月十一日

死亡者調査表

八

2-10

6177

死者調査表		昭和二十一年六月一日調査		死亡者調査表		昭和二十一年六月一日調査	
死者調査表		死亡者調査表		死者調査表		死亡者調査表	
決判	見所死経手入料者	監守	本籍	監守	本籍	監守	本籍
者認現	調査者	現住所	地籍	現住所	地籍	現住所	地籍
所屬部隊	調査者	死亡年月日時	官	死亡年月日時	官	死亡年月日時	官
官職	氏名印	死亡原因	年月日	死亡原因	年月日	死亡原因	年月日
級職		死因直前の調査	年月日	死因直前の調査	年月日	死因直前の調査	年月日
未歸還届	行現認する	死因直前の調査	年月日	死因直前の調査	年月日	死因直前の調査	年月日
無	死	遺骨留品の状況	年月日	遺骨留品の状況	年月日	遺骨留品の状況	年月日
有	死	死	年月日	死	年月日	死	年月日
八	死	死	年月日	死	年月日	死	年月日
第四七〇號	死	死	年月日	死	年月日	死	年月日
號番報公	死	死	年月日	死	年月日	死	年月日

所	有	名	一五四四特遣連隊砲兵軍隊	年	月	日
姓	名	性別	成一〇六六〇(男)	年	月	日
現住所	出生年月日	年齢	昭一〇	年	月	日
現住所	年月日時	年齢	補	年	月	日
死亡場所	死亡場所	遺留品情	衛生軍營	年	月	日
殺人の理由	死因	死因	軍營	年	月	日
死知の理由	現認	遺留品情	軍營	年	月	日
右證	照利二年五月五日	遺留品情	軍營	年	月	日
現住所		遺留品情	軍營	年	月	日

18-10

1178

出生年月日	通籍年月日	本籍
死亡年月日	死亡年月日	年
死亡原因	死亡原因	籍
死亡承知の理由	死亡承知の理由	名
現住所	現住所	年
所属部隊	所属部隊	月
氏名	年	日

死亡年月日
昭和二十三年四月十九日

死亡原因
死後腰痛発作

死亡承知の理由
死後腰痛発作

現住所
西九師団參謀

所属部隊
西九師団參謀

氏名
上野多

現地證明書

本籍地

現住所 本籍地 同

新嘉坡軍隊此島遣風一五三二部隊

役種兵種官等級

陸軍 兵長

死亡狀況(死亡年月日昭和二十一年一月二日死亡場所木瓜島死因分道彈砲

駐守相當有住所 魏炳民石文

現認者住所

新嘉坡軍隊此島遣風一五三二部隊

官職 陸軍上等兵

大名

6-11

1180

戰時死亡者現認二閱スル件 報告

空

昭和十一年一月五日

地方查訪部長

軍事委員會

件主記、通報狀

本件は主に「昭和十一年十一月五日」調査シタルモノニシテ當初ニ於テ公

報等複数シテアリ三封爲念

所屬部隊	死	生	由	前線	被殺	被經	官等級	名	本	籍	地
第三軍	死	二	由	敵	敵	敵	兵	中	四	千	北
第三軍	死	一	由	敵	敵	敵	兵	上	三	百	北
第三軍	死	一	由	敵	敵	敵	兵	下	二	十	北
第三軍	死	一	由	敵	敵	敵	兵	上	一	一	北

右欄

空

他: 航空機銃手
同上
機降兵
修理

第三軍第八三師團第一四四師

陸軍兵長

1408

留航公第50號 21年11月23日

13

1181

卷之三

現
認
證
明
書

地方世話部

現認證明致します

昭和
22年3月1日

者 感 現

本籍現住所所屬部隊宣等氏名

卷之三

卷之二

卷之六

卷之三

卷之二

10

大角神

大小

160-171

1183

現認證明書

地方世話部

右現認證明致します

卷之三

本籍

七

卷之三

卷之三

卷一百一十一

卷之三

七

六

100

卷之三

一九

卷之三

卷之三

卷之三

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通称號) 戦第123九一部隊

一、徵集年

役種

兵種

通信兵

二、官等(死歿前) 薩軍一等士官(死歿後) 薩軍上等兵

三、氏名

在年月

日生

四、死歿場所

比島 レソン島 マニラ北方約六千呎

モナカルバン河上流

五、死亡區分並ニ事由

戰傷

大三共姑病院

六、死歿年月日時間

昭和二十年六月廿一日

七、死歿者本籍地留守者當差

右確認(證明)ス

昭和二十年四月十二日

元所属部隊

戦第123九一部隊

現住所

薩軍上等兵

元官等級

薩軍上等兵

氏名印

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツク者ヘソノ前後ヲクワシクオ
知フセササイ。

宛先

地方世話部認定係

5005-

B-10

1185

昭和二十二年

月 日

(年
月
日)

死亡者調査表

昭和二十二年六月某日製
地 方 他 部 調

者 帯 連		長 科	長 牌	長 部	整理番號
					年集徵第4
次	見附及給付の手入料資	留 留當者	所 屬 部隊	固有名	官死時の官職等並に發令
判	者認現	本籍	種	※ 一三〇兵衛	※ 上草天亡死
官	官	現住所	※ 同	衛生	氏名
等	所屬部隊	地		伍長	年月日
級	現認す	同上			生年月日
印	右				調査記票名
	氏名印				未歸還届
	等級				無 有
					死 死者原済番號
					公報番號

死亡年月日時 20年6月16日22時0分 甲 甲 死亡場所 火島 ザヤンガン附近

死亡區分 戰死 死亡事由 傷病名 米食不調症 原因 軍務 遺留品の状況 失

死亡前の職務 兵站病院内勤務 勤務日 20年3月16日

※ 食糧事情悪化ト馬鹿ナル軍務ニヨリ 失

調査上ナリ 死

○本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく讀んでから記入の事)

39-10

1187

戰死證明書

戰死者本籍地

戸主名 橋柄 戸主



99-11

年 [] 月 [] 日 生

所屬 部隊名 特務第十二空軍
運輸部隊名 比翼派重機第一空軍空母隊

戰死者官集年 [] 月 [] 日 病種不詳 兵種飛行員 死亡前官等 敗戰軍事委員會官選
日 明和 年 月 日

戰死年月日時刻及場所 [] 年 [] 月 [] 日 時刻 [] 分 [] 秒 [] 古不山忠者收容所 [] 聖母亭有十音

五、戰死現狀ノ程度 痘死

現狀

六、遺骨節遺ノ有無 不明

七、戰當時ノ状況 概要

一、後方支那年 [] 月 [] 日 [] 時 [] 分 [] 秒 [] 在行場 [] 轉進用年 [] 月 [] 日 [] 時 [] 分 [] 秒 [] 到着

二、死亡區分 痘死

九、其他 (上陸地 [] 本戦死者番号 [] 係立タ、部隊名記入) 申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

三、遺族ノ現在所

戰死者トノ親類 東京

氏名 []

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和廿一年十一月十一日

證明者住所 []

戰死者トノ關係 []

所屬部隊名 特務第十二空軍

兵種飛行員等敗戰軍事委員會

氏名 []

町村長證明箇所

右相應連署下ノ證明人

昭和廿一年十一月十一日

印

118

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名姓
戸主本人

氏名

156-60

二、所屬軍種部隊名
步兵第十四聯隊第六中隊

年月日生

三、戰死者徵集年
大昭和二十年八月廿五日
兵種步兵死亡前官等級空軍正官選

月日昭和年月日

四、戰死年月日時刻及場所
昭和二十一年五月廿二日午後十時半左右在洲原村下野川河岸附近戰死

五、戰死現況ノ程度
他言(他傷無外傷取)

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要
昭和二十一年五月八日
步兵第十四聯隊八四四方面轉進某途上轟炸機數十架
飛來洲原村下野川河岸附近戰死

八、死亡區分
事由
由爆彈致死
年月日昭和年月日

九、其他
(上陸船名
死亡者登記號
登記號立
不與登記號
上陸年月日及上陸地
不明)

一〇、遺族ノ現住所

戰死者下士姓氏

氏名

右ノ通り戰死セラシタルコトヲ證明候也

昭和二十一年三月十五日

證明者住所

戰死者下士關係
如人朝天

所屬部隊名
步兵第十四聯隊

兵種
步兵死亡前官等級空軍正官

氏名

市町村證明箇所

有明町
昭和二十一年三月十五日

印

1190